

視 察 報 告 書

報告者氏名 菅 野 浩 考



1. 市内視察

2. 期 日 平成30年7月12日（木）

3. 視察地及び調査事項

視察地および調査事項は、以下のとおりである。

日程	視察先	調査事項
7月12日（木）	まつど徳洲苑	・ 事業概要についてヒアリング
同日	生活介護事業所そにあ	・ 事業概要についてヒアリング
同日	相談支援事業所 PHARE	・ 事業概要についてヒアリング

1. まつど徳洲苑

まつど徳洲苑は、2006年に医療法人沖縄徳洲会が設立した介護老人保健施設である。「地域の高齢者医療と福祉に貢献することを役割とし、高齢者の自立を支援し、家庭復帰」を目指し、通所、入所、ショートステイのサービスを提供している（まつど徳洲苑ウェブサイト）。

まつど徳洲苑では、週3回～5回まで、1回30分程度の学習療法「粹々（いきいき）大学」を開講し、利用者のレベルに合わせた学習療法を展開し、認知機能やコミュニケーション機能などの低下防止と改善を目指している。



写真1：まつど徳洲苑

〈所感等〉

学習療法「粹々（いきいき）大学」の実施効果として、個人差はあるものの、認知機能、コミュニケーション機能、身辺自立機能の維持・改善の効果が見られていると聞いた。まさに、「高齢者の自立支援」、「家庭復帰」という目標達成に貢献していると感じた。



写真 2：雑々大学

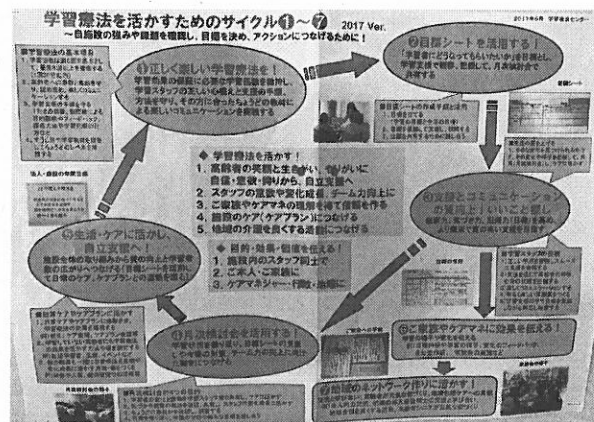


写真 3：学習療法を活かすためのサイクル

2. 生活介護事業所 そにあ

生活介護事業所そにあは、2017年に設立された「主に長期入院や慢性的な症状によって生活面での援助が必要な方を対象に、「人生の第一歩」となる居場所を提供」している施設である（生活介護事業所そにあ Facebook ページ）。外出レクリエーションや事業所内で夕食を一緒に食べるイベントの実施、お菓子作り・販売、また擬似就労体験プログラムなどを通じ、施設利用者が徐々に日常生活や社会生活が送れるような手助けとなる活動を展開している。

〈所感等〉

そにあは設立されて約1年程度ではあるが、相談施設事業所 PHARE と同じ、医療法人社団 宙麦会関連グループである。関連グループとの連携はもちろんのこと、日々の活動が、施設利用者にとって徐々に日常生活や社会生活を送ることができるようになるきっかけになっていると感じた。

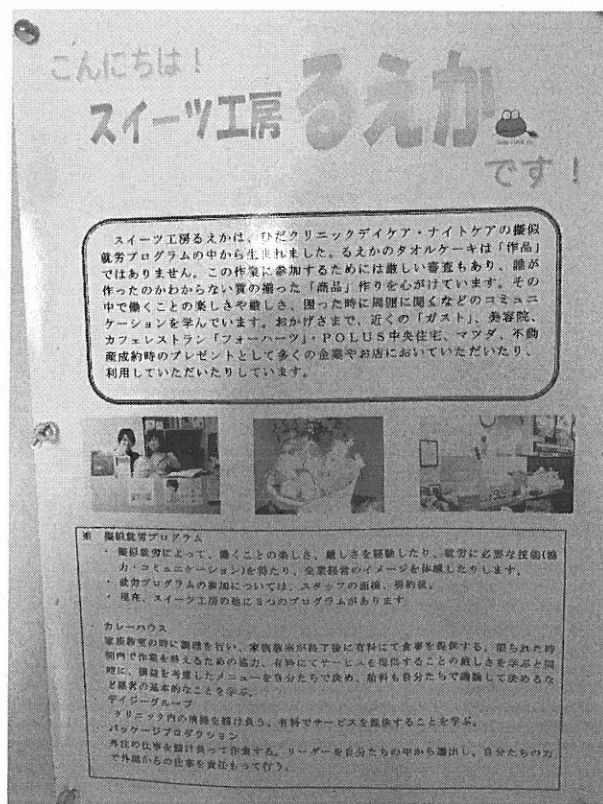


写真 4：活動紹介

3. 相談支援事業所 PHARE

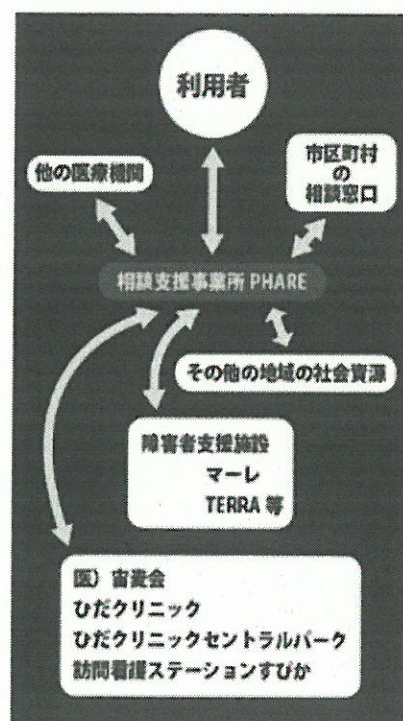
相談支援事業所 PHARE（ファール）は、「障害者やその保護者、介護者などからの相談に応じ、必要な情報の提供や、虐待の防止、早期発見など障害者の権利擁護のために必要な援助などを行う」事業所で、2014年に設立された。PHAREは、医療機関のほか、市区町村、保健福祉サービスなどと直接的な連携を図り、「電話相談」、「サービス利用計画の作成」、「障害福祉サービスの提供」を行っている（相談支援事業所 PHARE ウェブサイト）。



写真 5：相談支援事業所 PHARE

〈所感等〉

PHAREでは障害福祉サービスを提供しているが、利用者からの相談・申請内容に沿って、サービス利用計画を策定、利用開始となる。また PHARE は、生活介護事業所 そこにあって、1人1人の状況に応じたサービス提供が可能であると感じた。



出典：相談支援事業所 PHARE ウェブサイトより

以 上